
浮気

雪芳

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

浮気

【Nコード】

N3816J

【作者名】

雪芳

【あらすじ】

結婚して子供も大きくなった。さあ、浮気をしよう！

妻とはセックスレスだ。

なにがあつたというわけではなく、二十代半ばに出来た二人の息子娘も中学に上がり、そこはかとなくそういう雰囲気が出来上がっていた。長い時間のうちに深く家族の絆を結んでしまった女と機会を作るのは難しいのだ。

朝早くに出勤し夜遅くに帰宅し既に眠る妻の横で静かに目を閉じる。家族七人を養う一家の大黒柱としては申し分のない所行、妻も満足しているようだ。

だがしかし、私は男であつた。

携帯に届いたメールを思い出しながらつくづく思う。

なんとなしに着た宣伝メールから入った出会い系サイトをきつかけに、私は現在たくさんの女性と交流をしている。そして今度、ついにその中の一人と出会う約束を結ぶことに成功した。

今時らしく西洋風の可愛らしい名前を持つ女子高生だ。アンジュちゃん。付属の写真はアイドルのようにいつも可憐。私は今日、彼女と会う。

温かい風呂で身を清め終わると、気合いを入れて冷水をかぶり、私は風呂から上がった。息子の部屋から拝借した香水を首筋にかけ、ブリーフではなくトランクスを身につける。最後にクリーニングから戻ってきたばかりのシャツとスーツに袖を通した。

完璧だ。私は意気揚々とリビングへ戻った。

「あらお父さん。休日なのに随分しっかりして」
妻に呼び止められて私は脳内脚本を開く。

「今日はお得意さんとゴルフなんだよ。清潔にしないと印象が悪いからな」

ふうんと妻は相づちを打つと、朝食を次々並べ始めた。私も手伝う。と、妻がやけに明るく、ネエ、と開口した。

「アンジュちゃんめぐみちゃん早由利ちゃん有希子ちゃん加奈子ちゃん、今日は誰と会う予定なの？」

瞬間、リビングが北極に変わる。

「なんつ、なのことだねお母さん」

舌を噛み上擦る。予定にはない混沌とした展開のさなか、妻はポケットから私の携帯を出した。反射的に充電機を確認。無い。ガツデム。

ビシリと時空がひび割れる音を聞きながら私は、来たる修羅場に震え、青ざめながら妻の顔を伺った。

「はい」

が、これまた予想外にも、妻はなんともないという風に私に携帯を返してくれた。

拍子抜けするほどの態度に、思わず携帯と妻の顔を交互に見やる。妻、まったくの平常心。

「ねえ、めぐみちゃんにメールを送りなさい？」

「は？」

「良いから送りなさい？」

珍妙な威圧感に押されて、私はすぐさまアドレス帳を起動し適当な本文を打ち、送信した。

軽やかなカノン。妻はもう片方のポケットから携帯を取り出すと、二つ折りのそれをパチリと開いた。

「ありがとう。メールくれて」

……………あう？

あまりの出来事に私は愚鈍な呻きを喉から絞り出す。つまり、浮気がばれたところか、これは。

「めぐみちゃん？」

妻がにこやかに、邪悪な笑みを放ち私を貫く。が、悪夢はここで終わらなかった。

私の携帯が激しく振動した。受信。メールだ。差出人は、早由利ちゃん。

「お父さん、届いた？」

扉の影から娘が手を振る。

振動。受信。有希子ちゃん。

「おやじ、バカだよな」

息子、ソファに座る。

振動。受信。加奈子ちゃん。

「まったく、アンタって子は」

母、呆れながらキッチンから出る。

私は一人、北極化したリビングで、頭にかじりつく白クマに身を委ねながら、思った。もう二度とセックスは出来ないだろう、と。

随分と手の込んだ息子のイタズラに見事引っかかり、ドツボにはまり、懲らしめられた私は今、謝罪の意を表す家族旅行のために深夜の短期バイトをしている。睡眠時間は三時間ではあるが、あの瞬間を思い出すと睡魔は瞬時に消滅する。

私は成長した。コンビニ弁当を温めるのが少し巧くなった。休日には家にずっといる。

だが最近、涙が止まらない。何故かは考えないようにしている。

妻とはセックスレスだ。

アンジュちゃんは父だった。

(後書き)

2007年作成。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3816j/>

浮気

2010年10月17日13時56分発行